



2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年1月30日

上場会社名 太平洋工業株式会社 上場取引所 東・名
 コード番号 7250 URL <https://www.pacific-ind.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小川 哲史
 問合せ先責任者 (役職名) 理事 経理部長 (氏名) 渡辺 智 (TEL) 0584-93-0117
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第3四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	151,309	△3.0	9,075	△19.3	13,058	△9.0	10,138	△7.0
2024年3月期第3四半期	155,983	8.8	11,240	97.5	14,345	68.4	10,905	75.9

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 10,084百万円(△55.2%) 2024年3月期第3四半期 22,514百万円(117.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	175.80	175.44
2024年3月期第3四半期	185.90	185.53

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第3四半期	283,563	170,738	59.8
2024年3月期	292,455	167,397	56.9

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 169,511百万円 2024年3月期 166,310百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	22.00	—	55.00	77.00
2025年3月期	—	26.00	—		
2025年3月期(予想)				26.00	52.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	203,000	△2.1	12,500	△13.5	16,500	△12.4	12,000	△29.3	208.46

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2025年3月期3Q	61,312,896株	2024年3月期	61,312,896株
2025年3月期3Q	4,102,109株	2024年3月期	2,755,384株
2025年3月期3Q	57,672,777株	2024年3月期3Q	58,662,126株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績予測等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は今後さまざまな要因により変動する可能性があります。

○添付資料の目次

1. 【当四半期決算に関する定性的情報】	2
(1) 【経営成績に関する説明】	2
(2) 【財政状態に関する説明】	2
(3) 【連結業績予想などの将来予測情報に関する説明】	3
2. 【四半期連結財務諸表及び主な注記】	4
(1) 【四半期連結貸借対照表】	4
(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】	6
【四半期連結損益計算書】	6
【四半期連結包括利益計算書】	7
(3) 【四半期連結財務諸表に関する注記事項】	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10

1. 【当四半期決算に関する定性的情報】

(1) 【経営成績に関する説明】

当第3四半期連結累計期間（2024年4月1日～2024年12月31日。中国とフランスの子会社は2024年1月1日～2024年9月30日の業績を連結）における世界経済は、全体としては緩やかな回復基調であり、米国は、個人消費の回復や設備投資等により堅調に推移しましたが、ウクライナ・中東情勢をはじめとする地政学的なリスクや中国経済の減速等の影響を受けました。日本においては、経済活動の正常化、雇用・所得環境の改善等により回復基調である一方で、為替の変動、物価上昇の影響などもあり、先行きが不透明な状況が続いています。

また、主要の日本・米国における自動車生産は前年比で減産となりました。

このような中、生産体制を受注変動に合わせて見直し、生産性向上など改善活動を行ってきました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、販売物量の減少により、1,513億9百万円（前年同期比3.0%減）となりました。利益面では、原価改善活動を継続的に推進しましたが、販売物量の減少や労務費および経費の増加により、営業利益は90億75百万円（前年同期比19.3%減）となり、経常利益は、営業利益の減少が大きく、130億58百万円（前年同期比9.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、101億38百万円（前年同期比7.0%減）となっています。

セグメント別の経営成績は、次のとおりです。

（プレス・樹脂製品事業）

販売物量の減少影響により、当事業全体の売上高は1,089億23百万円（前年同期比3.7%減）となりました。利益面では、原価改善の効果はあるものの、販売物量の減少や労務費および償却費の増加により、営業利益は51億69百万円（前年同期比34.2%減）となっています。

（バルブ製品事業）

販売物量の減少影響により、当事業全体の売上高は422億8百万円（前年同期比1.2%減）となりました。利益面では、販売物量の減少および材料価格の高騰等はあるものの、前連結会計年度に固定資産を減損したことに伴う償却負担の軽減等により、営業利益は39億32百万円（前年同期比17.3%増）となっています。

（その他）

その他は主に情報関連事業等のサービス事業から成っており、売上高は1億77百万円（前年同期比11.4%増）、営業損失は46百万円（前年同期は営業損失7百万円）となりました。

なお、セグメント別の金額は、セグメント間取引の消去後の数値です。

(2) 【財政状態に関する説明】

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は2,835億63百万円となり、前連結会計年度末と比較して88億92百万円の減少となりました。

資産の部では、流動資産は891億67百万円となり、前連結会計年度末と比較して129億79百万円の減少となっています。これは主に、棚卸資産が24億76百万円増加しましたが、現金及び預金が96億1百万円、受取手形及び売掛金が55億58百万円減少したことによるものです。

固定資産は1,943億95百万円となり、前連結会計年度末と比較して40億87百万円の増加となりました。これは主に、時価評価等に伴い投資有価証券が31億70百万円減少しましたが、有形固定資産が76億61百万円増加したことによるものです。

負債の部では、流動負債は521億28百万円となり、前連結会計年度末と比較して15億49百万円の減少となりました。これは主に、1年内返済予定の長期借入金が44億94百万円増加しましたが、未払法人税等が61億46百万円減少したことによるものです。

固定負債は606億95百万円となり、前連結会計年度末と比較して106億84百万円の減少となりました。これは主に、長期借入金93億32百万円減少したことによるものです。

純資産の部は、その他有価証券評価差額金が29億71百万円減少しましたが、利益剰余金が53億94百万円、為替換算調整勘定が30億88百万円、自己株式が19億87百万円増加したこと等により、前連結会計年度末から33億41百万円増加し、1,707億38百万円となりました。

有利子負債は、前連結会計年度末から18億42百万円減少し、600億95百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は59.8%（前連結会計年度末56.9%）となっています。

(3) 【連結業績予想などの将来予測情報に関する説明】

当社グループを取り巻く環境は、ウクライナ・中東情勢をはじめとする地政学的なリスクやインフレ、エネルギーや原材料価格の高騰等に起因する物価上昇、利上げなどによる金融資本市場の変動や急激な為替の変動等により厳しい状況が続くと想定される中で、原価改善、固定費削減を継続的に実施します。

このような中、当第3四半期連結累計期間の実績に加え、顧客の生産情報、各種経済予測等の入手可能な情報に基づき、通期の連結業績予想を修正しました。また、第4四半期連結会計期間の為替レートは、1 US\$=150円と置いています。

これらの仮定には不確実性が含まれているため、今後の状況等によっては、実際の業績が予想から大きく乖離する可能性もあります。

2025年3月期 通期の連結業績予想値の修正 (2024年4月1日～2025年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	197,000	11,000	13,500	10,500	182.40
今回修正予想(B)	203,000	12,500	16,500	12,000	208.46
増減額(B-A)	6,000	1,500	3,000	1,500	—
増減率(%)	3.0%	13.6%	22.2%	14.3%	—
(ご参考)前期実績 (2024年3月期)	207,348	14,456	18,836	16,974	289.48

2. 【四半期連結財務諸表及び主な注記】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	45,120	35,519
受取手形及び売掛金	29,566	24,007
商品及び製品	7,522	8,445
仕掛品	7,689	8,604
原材料及び貯蔵品	6,797	7,437
その他	5,614	5,321
貸倒引当金	△164	△167
流動資産合計	102,147	89,167
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	50,445	54,610
機械装置及び運搬具（純額）	50,328	49,712
工具、器具及び備品（純額）	2,475	2,445
土地	11,414	11,541
リース資産（純額）	1,526	1,369
建設仮勘定	12,789	16,961
有形固定資産合計	128,980	136,641
無形固定資産		
のれん	2,883	2,501
その他	3,176	2,815
無形固定資産合計	6,059	5,316
投資その他の資産		
投資有価証券	43,493	40,323
その他	11,776	12,117
貸倒引当金	△2	△2
投資その他の資産合計	55,267	52,438
固定資産合計	190,308	194,395
資産合計	292,455	283,563

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,942	13,641
電子記録債務	6,530	4,488
短期借入金	10	3,005
1年内返済予定の長期借入金	6,969	11,463
未払金	6,749	6,462
未払法人税等	7,044	897
賞与引当金	1,844	1,099
その他	10,587	11,069
流動負債合計	53,678	52,128
固定負債		
長期借入金	54,958	45,626
役員退職慰労引当金	180	178
退職給付に係る負債	665	715
その他	15,575	14,175
固定負債合計	71,380	60,695
負債合計	125,058	112,824
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,316	7,316
資本剰余金	7,690	7,694
利益剰余金	108,399	113,793
自己株式	△2,465	△4,452
株主資本合計	120,941	124,352
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	19,694	16,723
為替換算調整勘定	22,094	25,183
退職給付に係る調整累計額	3,580	3,251
その他の包括利益累計額合計	45,369	45,158
新株予約権	97	97
非支配株主持分	988	1,130
純資産合計	167,397	170,738
負債純資産合計	292,455	283,563

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年12月31日)
売上高	155,983	151,309
売上原価	133,438	131,160
売上総利益	22,545	20,148
販売費及び一般管理費	11,304	11,072
営業利益	11,240	9,075
営業外収益		
受取利息	303	585
受取配当金	812	662
持分法による投資利益	979	1,033
為替差益	833	1,134
補助金収入	76	581
その他	419	293
営業外収益合計	3,423	4,290
営業外費用		
支払利息	241	251
その他	77	55
営業外費用合計	318	307
経常利益	14,345	13,058
特別利益		
固定資産売却益	—	359
投資有価証券売却益	732	—
特別利益合計	732	359
特別損失		
固定資産除売却損	129	340
特別損失合計	129	340
税金等調整前四半期純利益	14,948	13,077
法人税等	3,992	2,894
四半期純利益	10,955	10,182
非支配株主に帰属する四半期純利益	50	43
親会社株主に帰属する四半期純利益	10,905	10,138

【四半期連結包括利益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	10,955	10,182
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,484	△2,978
為替換算調整勘定	6,038	3,139
退職給付に係る調整額	△145	△328
持分法適用会社に対する持分相当額	182	68
その他の包括利益合計	11,559	△98
四半期包括利益	22,514	10,084
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	22,412	9,927
非支配株主に係る四半期包括利益	102	156

(3) 【四半期連結財務諸表に関する注記事項】

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しています。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱いおよび「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っています。なお、当該会計方針変更による第3四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を第1四半期連結会計期間の期首から適用しています。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前第3四半期連結累計期間および前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表および連結財務諸表となっています。なお、当該会計方針変更による前第3四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表および前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

項目	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
	プレス・ 樹脂 製品事業	バルブ 製品事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	113,086	42,738	155,824	159	155,983	—	155,983
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	0	0	△0	—
計	113,086	42,738	155,824	159	155,983	△0	155,983
セグメント利益又は損失(△)	7,862	3,351	11,214	△7	11,206	33	11,240

- (注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報・サービス事業等です。
 2 セグメント利益又は損失(△)の調整額33百万円は、セグメント間取引消去の金額です。
 3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

項目	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
	プレス・ 樹脂 製品事業	バルブ 製品事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	108,923	42,208	151,132	177	151,309	—	151,309
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	108,923	42,208	151,132	177	151,309	—	151,309
セグメント利益又は損失(△)	5,169	3,932	9,102	△46	9,056	19	9,075

- (注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報・サービス事業等です。
 2 セグメント利益又は損失(△)の調整額19百万円は、セグメント間取引消去の金額です。
 3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成していません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)およびのれんの償却額は、次のとおりです。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	14,070百万円	12,640百万円
のれんの償却額	903	494